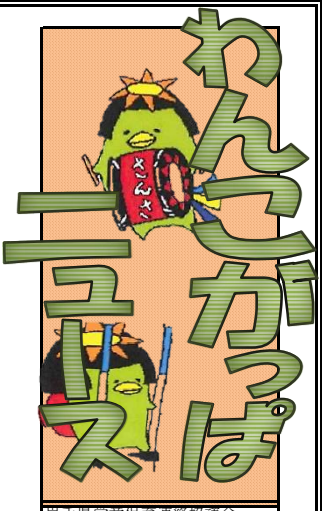


岩手県学童保育連絡協議会
TEL/FAX
019－681－0651
MAIL
iwate-gakudou
@iaa.itkeeper.ne.jp

第３０回　岩手県学童保育連絡協議会

# 新指導員学校　特集号

## 午前の部

◆７月５日（日）岩手県青少年会館の大会議室をメイン会場に開催しました。記念すべき第３０回目となった今年は、過去最大の９０名の受講者と役員を含め、**１１１名の参加者**となりました。

午前の部は千田広幸県連会長による**講話　学童の歴史**」からスタート。途中でブレイクタイムとして佐藤千秋指導員（花巻　矢沢）によるじゃんけんや新聞紙を使った遊びをみんなで楽しみました。

そして門田弘之県連事務局長（滝沢　巣子学童第一）による**講義　指導員の仕事**」で午前の部が終了となりました。

## 午後の部

◆午後は「**日本の学童ほいく**」誌の紹介から再開しました。この日の朝、受付にて参加者全員に学童ほいく誌の２月号を配布し、ほいく誌の読み方や日々の保育へ活かされた一例を紹介しました。

担当した久保田涼子指導員（大船渡　にこにこ浜っこ）からは「すばらしい内容の本！是非自分の教科書として活用してください」とお話がありました。

指導員学校で配られた「日本の学童ほいく ２月号」。昨年岩手で開催された「第49回全国研IN岩手」の特集号です！

◆そして毎回大好評の「**先輩たちの体験談**」。今回は正路健介さん（花巻　矢沢）と中村早希さん（滝沢　第一篠木）のお二人から、新人指導員として働き始めた頃の悩みや葛藤、その中から学んだ事を具体的な事例をあげて話していただきました。

「嫌われてしまいそうで叱れない」という葛藤や、子ども達から発せられる「私たちより後に来たのに偉そうにしないで！」という声など、指導員になって直面する悩みや壁に、「あるある！」と多くの方が頷いている様子でした。

身近な保育の中で起こる、または体験したことがある事例なだけに、先輩たちがどのように壁と向き合っていったか、新指導員となる参加者の胸に印象的に残ったようです。

◆その後は皆さんお待ちかねの**テーブルトーク**の時間です。全体を１０グループに分けてのトークタイムとなりました。グループリーダーを中心に自己紹介や学童紹介をしたり、今直面している悩みを出し合いながら意見交換を行いました。

「先輩たちには言えないんですが…」「帰ったら早速提案してみます！」「みんなも同じように悩んでいることが分かってほっとしました」という声が参加者から上がり、１時間４５分があっという間に感じられるような中身の濃い時間となりました。

◆今回も県連未加入の学童から多数の参加がありました（隣県宮城からも参加者あり）。加盟・未加盟を問わずに研修会への参加の門戸を開いて開催できることは、県連協の活動に関心を持っていただけることに繋がると確信して、今後もさらに充実した研修の機会を提供していきたいと思っています。

研修部一同、これからも研修会の企画・立案に積極的に携わっていきますので、皆様からのご意見・ご感想などいつでもお待ちしております！

☆★参加者からの声（　アンケートより　）★☆

◎信頼関係がないのに叱っていいのか、と悩んでいた。叱ることで信頼関係が生まれる、という一つの答えを得ることができてよかった。

◎いつでも・どこでも・だれとでもできるレクっていいですね。

◎門田先生の「安心して過ごせる生活の場」。子ども達は「場所」に帰ってくるわけでなく安心できる大人」の所に帰ってくる、という言葉に自分の学童の子ども達の顔を思い出しながら聞いた。

◎いろいろ考える機会となった。長くこの仕事を続けていきたいと思った。